

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
福祉・社会福祉基礎	2	社会福祉基礎 (実教出版)	
科目の概要と目標	社会福祉に関する基礎的な知識を習得させ、現代社会における社会福祉の意義や役割を理解させるとともに、人間としての尊厳の認識を深め、社会福祉の向上を図る能力と態度を育てる。		
単元	学習内容	到達度目標	
(1) 社会福祉の 理念と意義	- 生活と福祉 - 社会福祉の理念 - 人間の尊厳と福祉社会の創造	- 生活構造・家族形態の変化や人の一生と社会福祉の関わりについて理解できる。 - 社会福祉の理念である、人権の尊重やノーマライゼーションについて理解できる。 - 社会福祉における自立の概念を理解できる。 - 豊かな福祉社会の創造を目指すことの重要性を理解できる。	
(2) 社会福祉の 歴史と福祉 社会の課題	- 諸外国における社会福祉 - 日本における社会福祉	- イギリスにおける社会福祉の発展と概要、アメリカや北ヨーロッパなどにおける福祉の歴史的な展開を理解できる。 - 日本における社会福祉の歴史的展開を理解できる。	
(3) 生活を支える 社会福祉 ・社会保障 制度	- 社会福祉・社会保障制度の意義と役割 - 子ども家庭福祉 - 障害者福祉 - 高齢者福祉 - 生活支援のための公的扶助 - 国民生活を支える社会保障制度	- 社会保障制度の意義と目的を理解できる。 - 児童家庭福祉の原理や子育て支援のあり方、子どもを取り巻く福祉課題を理解し、考えることができる。 - 障害者福祉の現状と課題を理解できる。 - 高齢者福祉の現状や介護保険制度について理解できる。 - 生活保護制度の目的や概要について理解できる。	
(4) 人間関係と コミュニケーション	- コミュニケーションの基礎 - 援助における人間関係の形成 - 社会福祉援助活動の概要	- コミュニケーションの意義や構成要素について理解できる。 - コミュニケーションの方法・手段を理解し、適切な方法を活用することができる。 - 社会福祉援助活動の概要について理解できる。	
(5) 地域福祉の 進展と多様な 社会的支援 制度	- 地域福祉の進展と地域の将来 - 多様な社会的支援制度 - 社会福祉の将来と福祉の担い手	- 地域福祉活動について理解できる。 - 多様なニーズを抱える人々への支援のあり方を理解し、考えることができる。	

教科・科目	単位数	教科書	使用教材
福祉・介護総合演習	2		
科目の概要と目標	介護演習や事例研究及び調査、研究などの学習を通して、専門的な知識と技術の深化、総合化を図るとともに、課題解決の能力や自発的、創造的な学習態度を育てる。		
単元	学習内容	到達度目標	
(1) 介護演習	・ 介護実習の事前指導 ・ 介護実習の事後指導	・ 介護実習オリエンテーションで、介護実習の意義と目的、実習期間や実習内容、実習施設の概要や主な業務内容について理解できる。 ・ 介護実習のまとめなどを通して、各自の成果や課題を明確化できる。 ・ 実習報告会の中で、情報の共有化を図るとともに職業倫理についても考え、介護従事者としての意識を高めることができる。	
(2) 事例研究	・ 介護活動の体験から得た事例の考察 ・ 個別支援計画の作成	・ 事例から、求められる生活課題について考え、主体的に事例研究を行うことができる。 ・ 問題解決能力や自発的・創造的な学習態度を身につけることができる。 ・ 総合的な介護活動の体験から得た事例を基に課題を発見し、求められる介護の内容と対応方法、活用できる社会資源などについて考え、個別支援計画を作成することができる。	
(3) 調査・研究	・ 調査・研究 ○高齢者の食事 ○介護技術	・ 福祉に関する他の科目などで学習した知識や技術を生かし、自発的・創造的に課題解決ができる。 ・ 高齢者の栄養と食生活の実態を把握できる。 ・ 口腔ケアの重要性を理解できる。 ・ 高齢者が食べやすい食事形態を理解し、調理することができる。 ・ 上記3点についての学習のまとめを発表し、普及することができる。 ・ 実習等における介護技術について評価し、検討できる。	